

創立 100 周年を迎える池田工業高校

校長 清水 史明

長野県池田工業高等学校は、県中央部に位置する県下第 2 の都市である松本市から北の大町市や白馬村方面に向かい、25km ほど進んだところの北安曇郡（きたあずみぐん）池田町にあります。本校から西方を望めば、白馬岳から常念岳・蝶ヶ岳まで北アルプスの雄大なパノラマが広がります。

風光明媚なこの地にある本校は、大正 10 年（1919 年）に設立された町立池田実業補習学校を母体とし、北安曇農業高等学校時代の昭和 23 年に定時制課程を設置し、昭和 38 年に長野県池田工業高等学校として現在に至っています。本年で学校創立 100 年となり、1 世紀にわたり地域の産業振興に大きく貢献し、地元の皆様には「池工」として親しまれてきました。現在は、全日制工業科 3 科 3 学級（機械科、電気・情報システム科、建築科）と定時制普通科 1 学級を擁する、この地区で唯一の工業科、定時制課程を設置する学校です。

本校正門を入った奥に創立 50 周年記念「農魂」の碑があります。その碑文に「…わが母校創立の精神は農を基にしつつ郷土にその魂を植えつけ永遠ならんことを求めたものである…」とあります。また、60 周年記念誌に建学当初について「希望するものすべての入学を認め、男女同学の全人教育の道を選んだ。」ともあります。本校は地元の青年全てに教育の機会を与え、郷土の発展とともに人間形成の教育に力を入れた学校だからこそ発展した学校と言えます。

平成 18 年度からは本校生徒が年間を通じて地域の企業等で研修を行う「池工版デュアルシステム」を開講しました。また、平成 22 年度からは入学生が個人の希望や適性に合わせた学科選択を可能とする「くくり募集」を実施するなど時代の変化に合わせた専門教育をすすめています。

令和 3 年 1 月に中教審は『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）を出しました。その中で、新時代に対応した専門学科高校の在り方については「産業界と一体になって地域産業界を支える革新的職業人材の育成」としています。本校では令和 2 年度から「ものづくり人材育成地域連携推進事業」によるコーディネーターの配置を受け、学校と地域の魅力づくりの協議を行っています。池田工業高校は、これからも地域の産業発展のために大きく貢献する工業高校を目指していきます。